

[005] 学生法政論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/19432>

出版情報：学生法政論集. 5, 2011-03-23. 九州大学法政学会
バージョン：
権利関係：

編集後記

今年は残念ながら掲載できる論文が少なかったようです。論文の書き方は日々の授業のレポートやゼミの発表メモとは違いますので、指導教員のちょっとしたアドバイスをもらえば見違えるように良くなる可能性があります。今後もいろいろなチャンスを生かして頑張ってください。(MMK)

学生法政論集に掲載された論文はWebを通じて世界中から閲覧可能とのこと。九大生の論文執筆能力が評価されるだけに審査に手抜きなし。今年は掲載本数が少なくなったが、来年は学生のみなさんの奮起を期待したい。(K. T)

今年も力作が応募されました。論文を投稿していただいたみなさん(掲載されなかった方々も含め)、ご苦労さまでした。また論文作成支援にご尽力いただいた教員のみなさんにも、感謝したいと思います。ただ、この論集も5回目を迎え、「曲がり角」にあるのかもしれない。次年度以降に向けて、さらによりよいものにしていくことも必要でしょう。(爺)

今年は、なかなかよく調べた力作が多かったように思います。特に、3年生にがんばりが見られました。ただ、全体としての印象は、試験の答案の延長のように、「正しい」解答を追求する姿勢が気になりました。正しさの追及よりも、心から「こう考えたい」「こう変えたい」という気持ちの方が大事だと思います。(酔)

学生時代の柔らかい頭で色々なことを考えながら論文を書くという作業は、それ自体とても貴重な体験だと思います。特に、情報が溢れている現代では、必要な情報を取捨選択する能力が今まで以上に求められているように感じます。最初から良い論文を書くことは難しいですが、次第にコツが分かってくるものです。学生法政論集への応募も一つの勉強だと思って、どうか積極的にチャレンジしてみてください。(AE)

読んだ内容を正確に理解することに加えて、自分の頭の中にあることを表現する作業に取り組み、苦しむことは、必ず将来につながります。惜しくも選にもれた人も含めて、みなさんの今後の大いなる発展を祈念しています。(IR)

『学生法政論集』第6号(平成24年3月発行予定)の募集につきましては、「九州大学法政学会ホームページ」および「法学部ホームページ」にてお知らせします(6月下旬予定)。